

富良野市

*地域高規格道路(旭川十勝道路)の整備促進に関する要望

*地域高規格道路(富良野道路・富良野北道路)の整備促進に関する要望

*台風・大雨による災害状況

富良野市役所において、北市議会議長、建設水道部長・係長、川崎議会事務局長に対応いただいた。主な質疑応答。

Q 延長120キロメートルに及び計画の中で、



富良野市視察研修

中央部から着工された主な要因は。

A 富良野市が生活圏の主要地域であり、通勤、買い物等で渋滞が日常化している。

そんな中、観光シーズンには観光バス・マイカーの流入で、渋滞に一層の拍車がかかる。渋滞緩和策には高規格道路の早期建設しかないので要望活動を展開した。

Q 期成会には市長・議長・市議が入っていないようだが。

A 要望活動は各種団体や市民が主に活動すべきであり市長・議長は相談に乗る顧問である。議会には審査する側の機関であり、期成会には入らないが、推進はし、協力は当然する。

Q 行政はどのように関わっているのか。

A 住民への説明と意見集約、計画への対応、説明の繰り返し、住民に納得

得してもらい、建設促進活動への参加高揚を図る。

Q 台風・大雨被害状況は。

A 富良野市においては大きな被害はなかった。*災害現場を案内してもらったが未整備の川の護岸や道路の法面が崩落、小規模な倒木が流出した程度であった。

Q 主な農産物は、また、大雨被害状況は。

A にんじん、玉ねぎ、メロンが主である。一部で冠水被害があったが、最小限の被害で済んだと思っている。

南富良野町

南富良野町においては、視察受け入れ困難であり、大災害地域現地視察を行った。

【被災状況】

*馬鈴薯集荷場施設及び周辺地域は、かなりの幅員で流失しており、どこが川だったか、畑だったか判断できない状況であった。

*馬鈴薯集荷場もかなりの浸水・冠水を受けて、

外装や内装の工事中であり泥まみれの備品洗浄、山積みされた泥まみれの馬鈴薯など災害の凄さが一目瞭然であった。

*いたるところで復旧はされているが、生活道路の確保程度と思われ、復旧には程遠い。いたるところで線路敷きが流失し宙ぶりのレール、橋桁に引っかかった大量の竹木、広範囲に河川化した状況が長い距離続いていた。

*災害を大きくした原因は、大雨の想定がされて

なく、河川の護岸が未整備(土手のまま)で災害を大きくしたと感じた。

占冠村

占冠村では道の駅「自然体感しむかっぷ」について、占冠村づくり観光協会、新井会長、児玉専務に説明を受けた。

*道の駅の販売商品で農産物の品数が少ないのは、販売できる農作物を生産している農家が少ない。

*台風被害の道路事情で占冠ICが昨年の7倍の

通行量になり、地元では活気にあふれているが、一方では事故・渋滞のトラブルが起き、人口1,200人の静かな村に異変が起きている。

『委員長後記』

移動に丸一日ずつかかり、視察研修が25日で3カ所の広域を研修するという強行日程であったが、参加者全員の協力で熱心で有意義な研修ができた。今後の行政、議会活動に活かせる事と思う。



南富良野町被災地